

教育委員会だより

Karuizawa Board of Education Newsletter

12月定例教育委員会

12月の定例教育委員会が23日に開催されました。事務局より次の案件を提出し、審議されました。

【審議事項】

- ①各種行事への後援等について
- ②令和6年度軽井沢町新入学児童・生徒就学援助の認定について
- ③令和6年度軽井沢町就学援助追加認定について
- ④町内就学校変更申立てに係る協議について
- ⑤令和6年度学力調査について

地域クラブ活動の指導者・協力者募集

長野県教育委員会では、子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しめる環境の構築を目指すとともに、教員の働き方改革による学校教育活動の質の向上を図ることを目的に、中学校の部活動の地域クラブ活動への移行を進めています。

このたび、指導者や協力者として支援していただける地域の方と地域クラブをつなぐマッチングツール「信州地域クラブ活動指導者リスト」の登録サイトが開設されました。



【問い合わせ】

子ども教育課 学校教育係 電話45・8672

児童手当を指定口座に振り込みます

令和6年12月分から令和7年1月分までの児童手当を、2月10日(月)に振り込みますので、受給者の方は入金を確認してください。

【問い合わせ】子ども教育課 児童係 電話45・8672

「こころのぼ」



スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 真理

忘れっぽさ・不注意

「しまった！またやってしまった」と、ついうっかりミスをしてしまうことは誰にでもあることだと思います。私もここ数回、詰め替え用洗剤のの中身を買う際に、つい確認せずに「泡で出るタイプ」と「普通の洗剤」を間違えて買い、ノズルの押しにくさとズズズという鈍い音で「やってしまった」と思ったことが続きました。1回失敗しているのだから、気を付けられないことなのに、同じことを繰り返してしまいうこともありません。

こういった「うっかりエピソード」は誰にでもあることです。その傾向が強く生活に支障をきたしてしまう場合もあります。ある小学生は、「物忘れが多い、片付けが苦手、次のことに移る時やりっぱなしで移ってしまう(毎日同じことを言われている)」。

と自分の様子について理解しており、「授業中、聞いててもぼーっとしちゃって、わかなくなっちゃうんだよね」と話しています。やらなければいけないことに取り組むよりも、自分の思いが勝ってしまう様子などもあり、話しているのも思いついたことから突然話題が変わってしまうようなことも度々あります。本人もこのことについては自覚しており、困っていることを話してくれましたが、まだ工夫して直そうという気持ちまでには至っていないことがうかがえました。早とちりをしたり、聞き違いや聞いていないことがあるため、日常生活や学習の場面においても「理解する前に取り組み始めて、実は違った」ということもよくあります。

こう記していると、失敗ばかりで落ち込んでしまいそうにも捉えられます。そんな時に支えになるのは、身近な家族だったり友達、学校の先生など「理解のある人」「いいよ、そういうこともあるよ」と、応援してくれる人の存在です。失敗談をユーモラスにとらえて一緒に笑ってくれ、次にどうしたらいいかを考え、具体的な工夫の方法や手立てを見守ってくれる

ような人の存在が大切なのです。「みんな違うから面白い」と思ってくれる人が1人でもそばにいたことが救いになることもあります。同時に、成長していく中で、自らも自分をゆるすスキルを育んでいく事も大切です。「上手に開き直る」には、自己理解ができていること、周りに感謝ができていることがポイントになってくると考えられます。時には叱咤激励も大切ですが、優しく応援してくれる人がいることで、その人達に伝えたい、と「やれること」でできること」に精一杯取り組んでいくことが「上手に開き直るためのプロセスなのです。出来事だけに目を向けると、つい注意したくなったり、怒ってしまうようなこともあるかもしれませんが、「大丈夫。失敗してもあなたの価値は変わらないよ」と見守ることのできる「そばにいる人」に、私たちもなっていけるといいですね。

過去の「こころのぼ」は町ホームページからご覧いただけます。

